

1. 国際会長のテーマ・ロゴについて

2017-2018 年度から 3 年間は公式なテーマとロゴは、常に協会のスローガン「ウィー・サーブ」とロゴ「ライオン」を使用することが、2016 年 6 月の国際理事会（福岡）で決定いたしました。

2. 国際会長のプライオリティ、ハイライト

国際会長は、戦略的には国際協会の 5 年戦略計画である「LCI フォーワード」にそって組織を運営していきますが、今後も、会長の個性と個人としての重要事項や優先事項、キャッチフレーズのようなものは打ち出していきます。このようなものは、文書でまとめられ、来年度国際会長のもとで仕事をする最前線の国際役員であるガバナーエレクトに、まず最初にその説明がエレクトセミナーで行われます。アガワル次期国際会長は、これまでもセミナー等でお話になっているように、「パワー・オブ・アクション（行動の力）」「パワー・オブ・ウィー（“We” の力）」「パワー・オブ・サービス（奉仕の力）」という言葉キーワードとして使われるほか、インドのあいさつ「ナマステ」その背後にある相手を尊重する気持ちなどを盛り込まれた内容のようです。

3. 地区等における会長テーマやロゴの取り扱い

国際理事会で、上記のようにテーマやロゴを公式に制定しない、と決定した理由は、もともとこれらの会長テーマは協会全体の目的をわかりやすくサポートすることを目的として設定されたわけですが、近年、この言葉やロゴにこだわりすぎて、本来のもっとも人々が注意を払うべき重要なモットー、「ウィー・サーブ」と、ライオンズのロゴがないがしろにされることにつながっていないか、むしろ、会長のテーマがわからないために地区ガバナーが方針を決められないなどということになるのは、本末転倒であるため、そのような混乱がなく、地区やクラブはそれぞれ LCI フォーワードの戦略に従ってそれぞれの地域でやるべき目標やスローガンをかかげてほしい、という会長そして理事会の総意があったためです。

したがって、すでに会長から各ガバナーには書簡により今年の 11 月前半にお伝えしましたとおり、各ガバナーはご自分のロゴを決める際にはライオンズのロゴをモチーフにして決めていただくこと、地区やクラブの目標やスローガンを掲げるに当たっても、協会のモットー、協会の戦略計画などを念頭に、ご自分で自由に掲げていただくことで問題はありません。

従いまして、今年度テーマとしてお配りするテーマやロゴマークといったものはありません。